

丸となつて、諏訪地域の安心・安全を確保する！

巻頭特集

諏訪広域消防本部

365日、絶えず諏訪の平を見守る「諏訪広域消防本部」。そこで働く消防士の姿や迅速な消防活動を支える設備、6市町村を一元化したメリットを取材しました。



各署を繋ぐ消防インフラ

数年前と比べても、格段に短縮されたという災害現場への出動時間。その速さを可能にしているのが、組織の一元化と合わせて行われた、高機能消防指令センターと消防救急デジタル無線の整備です。

今まで各消防署で受信していた119番通報は、平成27年4月から諏訪広域消防本部の消防指令センターで一括して受信・管理されるようになりました。消防指令センターには、管制塔さながら巨大なモニタや沢山のコンピュータ、通信機器が並んでいます。例えば、災害点を瞬時に割り出すことが出来る「総合型位置情報通知システム」も新たに導入されたシステムの一つ。このシステムは、災害現場からの119番通報に対し、発信者の位置情報を通信事業網より受信し、瞬時に災害点を特定してくれます。また、現在は消防車や救急車などの車両の位置情報もリアルタイムで把握出来るようになり、通報場所の地域に関係なく、現場に最も近い車両を迅速に手配することが可能になりました。つまり、A市の火災に対して偶然近くを通っていたB市の消防車を出動させるといったことが出来るようになったのです。

6市町村を守る消防組織

火災や災害が発生した際に、現場に駆けつけ、消火や救助にあたる消防士の方々。緊急時に迅速に対応してくれる「消防署」の存在によって、私達の日々の生活は安心・安全に保たれています。私達が暮らす諏訪地域の消防活動を担うのは、6市町村（岡谷市・下諏訪町・諏訪市・茅野市・原村・富士見町）の広域を管轄する「諏訪広域消防本部」です。

元々消防の事務処理を共同で行うことを目的に発足した「諏訪広域消防本部」ですが、平成27年4月に組織を再編成。事務処理だけでなく、全ての消防活動を一括で管理する新体制がスタートしました。それまで地域の消防活動はそれぞれの市町村の消防署が単独で行っていましたが、再編成によってエリアの垣根を越えた活動が可能になり、より効率的に火災や災害に対処出来るようになったのです。

逞しき地域のヒーロー

現在、諏訪広域消防本部の職員は234名。消防本部・6消防署・2分署に分かれ、各地域の消防団と連携しながら日々業務にあたっています。

実際に現場に出動する消防士達は、いざという時に迅速に放水や救助活動が行えるよう、日々の訓練を欠かしません。各署で消火訓練や救急訓練が頻繁に行われている他、隊員達は施設内に設置されたトレーニングマシンで、体力作りのために日々汗を流しています。

消防士というとホースで消火活動をしている姿が印象的ですが、実際の災害現場では、負傷者の救助や急病人の手当などその役割は様々。体が資本とはいえ、鍛

命を救う119番通報

えるのは体だけではありません。応急処置の方法など、救急の知識や技術を身に付けることも消防士の大切な仕事なのです。諏訪広域消防本部では、より専門的な勉強をして救急救命士等の資格を取る消防士も多く、災害現場に柔軟に対応できる隊員が育っていると言えます。こうした逞しく勇敢な隊員達の存在によって、私たちの生活は平穏に保たれているのです。

平成29年の119番通報の総件数は約1万2000件、1ヶ月に平均して約1000件の通報があったことになりました。その内、実際に救急車が出動したのは約9000件。出動件数が約7200件だった10年前と比べて、ここ数年は増加傾向にあるようです。

火災0を目指して

大都市では救急車をタクシー代わりに呼び出すケースが問題となつていますが、諏訪地域の実情はどうなのでしょう。諏訪地域の救急車の出動状況については、軽傷で119番通報をしてしまう人がいる一方で、駆けつけてみると予想以上に重傷だったというケースも少なくないと言います。通報の時点で怪我や病気の程度を見極めるのは非常に難しいと語る隊員の皆さん。私たちが119番通報を利用する際には、我慢をせず、症状を素直に的確に伝えることがとても大切なのかもしれません。

増加傾向にある救急出動に対し、火災の発生件数は毎年約80件前後で推移しており、たき火などを行う春先の3月に増加する傾向にあると言います。冬から春

にかけては空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節。特に山火事は一気に燃え広がりが、被害が大きくなる可能性が高いため、たき火や野焼きをする際は十分に注意し、火の始末を徹底してほしいと、諏訪広域消防本部は警鐘を鳴らします。

諏訪広域消防本部では、日頃の火災予防活動に加え、毎年春と秋に行われる「全国火災予防運動」に合わせて、各家庭に予防を呼びかけています。自然災害とは違い、火災は主に人災。住宅用火災警報器の点検や消火器の設置、家庭における火の元の確認など、一人一人が意識するだけでも、発生を未然に防ぐことが出来ます。「消防署の人々と一緒に、諏訪地域の安全を守る」。そうした意識を持って、日々の生活を振り返ってはいかがでしょうか。



諏訪広域消防本部 岡谷市加茂町1-2-6 TEL.0266-21-1190 全国春季火災予防運動 3月1日(木)~7日(水)

▲諏訪広域消防本部・岡谷消防署の庁舎

▲諏訪大社で行われた全国文化財防火デーに伴う消防訓練

高い建物での火災や、高所での救助活動などで活躍するはしご車。

◀消防指令センター。通報者の位置情報や定点カメラの映像、車両の空き状況を元に、迅速に指令を出している